

(美術) 授 業 シ ラ バ ス

教科	科目	単位数	学科・学年・組
芸術	美術I(学術探究科・芸術選択)	2単位	学術探究科 第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。		
教科書・副教材等	美術1	授業形態	芸術選択・一斉授業

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点	考查
1 学期	4	オリエンテーション 美術は自由だ	観察する大切さを知り、形のとらえ方を学ぶ。	鑑賞作品に用いられた素材や制作方法、作品の大きさなどから、作者が作品に込めた思いや意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	授業 プリント・ 提出 作品
	4	絵画表現で描くイメージの世界 課題1	描画材の特徴を知り、扱い方と表現の違いを学習する。 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。	対象物をよく観察している。 自分の世界観を持って作品を完成させているか 根気よく取り組み、作品を完成させる喜びを味わうことができる。	
	5	「ドローイングで思いを表現する」 課題2			
	6	「自己を描く」 課題3 「身近なものや風景を描く」			
7	課題4 「想像した世界を描く」				
2 学期	8 9	油絵具で描く	色彩や形が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、意図に応じた表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。	完成の見通しを立てることができる。 完成までの作業工程を把握し、計画的に制作に取り組むことができる。 油絵具の特性を生かし意図に応じた表現ができる。	授業 プリント・ 提出 作品
	10				
	11 12	模様で飾る	自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、使用目的など基に、形や色彩の構成などの効果を考え、模様の構想を練り表現する。	自然物の特徴を生かして模様をデザイン化する工夫に主体的に取り組むことができる。 根気よく丁寧に作品を完成させることができる。	
3 学期	1	立体から思いを探る・思いを形にする	立体作品が持つ形や質感、量感、重心やバランス、動勢など造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。	根気よく丁寧に作品を完成させることができる。 素材や制作方法の特性を生かし自己の表現方法を追求して作品作りができる。	授業 プリント・ 提出 作品
	2				
	3	鑑賞・まとめ	1年間のまとめ 作品鑑賞 プレゼンテーション	学級又はグループでの展示方法がうまくできているか。作品の意図や表現内容を自身の感覚で発表することができたか。	
年間の 評価		作品の提出状況、観点別評価(関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力)などを総合的に判断し評価する。			

3 その他